

かわにし

広報かわにし

No.542

平成15年10月10日

晴れ間に刈る

特集 文化遺産に新しい息吹 …2
これが町のふところ具合！ 平成14年度決算…4
おめでとう！ 米寿…6
真剣に考えよう合併について…8

人口の動き

—10月1日現在—

男	3,991 (+6)
女	4,057 (+1)
計	8,048 (+7)
世帯数	2,274 (-3)

() は前月比較

特集——文化遺産に新しい息吹——

文化財の建造物や寺院など、歴史を感じさせる空間で行われる催しが好評です。

これまでも、古い建築や寺院の本堂などを利用したコンサートなどが時折開かれていましたが、この夏、長安寺、西永寺、重要文化財星名家住宅で展示を中心とする催しが行われ、いずれも好評を博しました。

こうした場所で行う催しが人気を呼ぶ秘密について、探ってみました。

大人気の催し

九月九日から十八日まで、上野の国重要文化財星名家住宅で博多人形の「哲三郎人形作品展」が開催され、連日多くの見学者が詰めかけました。その数は十日間で三、〇〇〇人にも達しました。

また、これに先立ち、七月二十二日から二十七日にかけて元町の長安寺（馬場光雄住職）で、古今流真多呂人形教授「星名眞燃子作品展」が開かれ、ほとんどPRなしで、六日間で七〇〇人もの入場者がありました。

国登録文化財の西永寺（渡辺道哉住職）では、七月二十日から九月七日まで、三年前に引き続き「大地の芸術祭」の作品が展示され、期間中に約三、〇〇



連日見学者が絶えなかった長安寺の人形展

〇人の来訪者がありました。いずれの催しも、文化財や歴史的空間を生かした展示会で、何度も訪れる見学者が出るほどの人気を博しました。どうしてこれほど好評だったのか、そこにはある共通点が見



別格の気風を持つ星名家住宅

いだせます。

作家と会場の出会い

ひとつには、作家あるいは企画者と会場提供者の呼吸が合っていたことがあげられます。

こうした催しは、作家や企画者が展示会場として古く格調のある空間を求めているところに、催し開催を受け入れる会場提供者の理解があつて始めて成り立つものです。それだけに、タイミングと偶然性に大きく左右されるものですが、いずれのケースも「人のつながり」が事業を実現させる力になったようです。

長安寺の催しは、作家が同寺の檀家で、法要の相談をしているときに開催が決まり、西永寺では、地元の青年団体と住職が

音楽の催しを行いながら実施を決めました。

星名家の催しは、星名家と親交のある十日町市の小海真二郎さんが、たまたま博多人形二代目西頭哲三郎さんの工房を訪問したことが切っ掛けで、開催される運びとなりました。



多くの人が作品と空間の両方を鑑賞しました（星名家）



「歴史ある空間」は作品の気品を一層引き出します

もちろん、開催されるまでにはいろいろな過程を経ているわけです。作家はその空間を、会場提供者は作家と作品をそれぞれ認め合うことが必要になるわけで、星名家には福岡市から西

頭さんの奥さんが事前に訪問し、打合せを行った上で開催を決めています。また、星名家でも、人形展に合わせて伝来の屏風や掛け軸を配置するなど、最大限の協力をしています。その結果、作品と会場が調和した魅力的な展示会になったようです。

そのあたりを、博多人形作家の西頭哲三郎さん（55）は、「これまでの展示会は、地元九州のほか、東京、大阪などの都市圏がほとんどでした。会場もデパートやギャラリーが多かったのですが、本来、博多人形は民家の床などに飾って置くものなのです。古い民家での開催が理想的なわけです。特に、星名家のような風格のある会場は西日本にはほとんど見当たらず、今回提供していただいて大変ありがたく感じています。」



人形に面相を入れる西頭哲三郎さん

新宅と本宅両方に展示させて
いただいたわけですが、本宅に
は歴史の重みに裏付けられた
『気』があって、さすがに国宝級
の書画の前に置く人形を選ぶの
ときは緊張しましたね」と、星
名家の環境を絶賛しています。

新たな発見と口コミ

次の要因として、展示作品の
当地域での希少性があげられる
でしょう。

木目込人形にしても博多人形
にしても現代アートにしても、
一般的な知名度はあっても、ま
とまった展覧会というものは当
地域にはあまりありません。

何となく気にはなっていて
も、改まって鑑賞する機会ない
ため、こういう催しを求める心
が呼び覚まされたのかもしれない
せん。そして、鑑賞する前と、
鑑賞した後では作品に対する印
象がかなり変わったという点も
共通するようです。星名家の人
形展を鑑賞した十日町市の女性
は、「博多人形に対するイメー
ジが変わりました。これまで、
おみやげ品という感じが強かつ
たのですが、伝統的な人形もす
ごいし、香炉や立ち雛、掛け軸
まであってとっても奥深いもの
だったんですね、びっくりしま
した」と感想を述べてくれました
。鑑賞前と観賞後の印象の差

が、そのまま感動の大きさを表
しているのかもしれないね。
大事なのがその次のことばで、
「友達にも教えてあげようと思
います」。これで、来訪者は倍
増するというわけです。口コミ
効果は絶大です。

歴史ある空間の力

さらに、会場そのものの魅力
が挙げられます。

星名家にしても両寺にして
も、関わりのある人以外はふだ
んは立ち入ることがありませ
ん。「こういう機会でもなけれ
ば」と、建築や庭園の見学に訪
れた人も多かったようです。

見学者は一樣に、「作品もす
ばらしいが、何よりも建物がす
ごい」と感嘆の声をあげます。
実は、これが人気を集めた一番

の要素かもしれません。

期間中、ずっと見学者の前に
座って対応した星名家十五代当
主の星名四郎さん（77）は、
「見学者の目的は、一つは人形、
一つは建物、一つは写真（庭の
撮影）だったの。遠くから千手
温泉に来て、湯に片足つつこん
だところでうちの展覧会の話を
聞いて、そのまま足を引っ込め
てこっちへとんできた、なんて
人もいたって（笑）」と、エピ
ソードを披露してくれました。

長安寺でも、「あんまりたく
さんの人が来てくれてびっくり
しました。人形展のことはもち
ろんですが、お寺のこともいろ
いろ聞かれました。お寺用のパ
ンフレットを用意しておけばよ
かったと思いましたね」（馬場
光雄住職・72）と、寺院見学を兼

ねた見学者が多かったようです。

西永寺の渡辺道哉住職（64）
は、「若い人が多かったんです
が、雨が降っても来てくれる皆
さんに感動しました。大体の人
がお寺の周りや彫刻を写真に撮
っていましたね」と、やはり建築
に惹かれる見学者が多かったこ
とが印象に残っているようです。
作品の力はもちろんですが、
やはり展示される場所の魅力が
多くの人を魅了したようです。

美術館やギャラリーに展示さ
れるよりも、こうした時の重み
のある空間の方に置かれた作品
が人気を集めるのは、全国的な
動きでもあるようです。

長い年月と風雪に耐えた文化
財や自然空間は、それだけで感
動を誘う力があります。しかし、
そこに新しい文化の香りを加え
ると、その輝きが一層増して、
人々をさらに大きな感動の渦に
巻き込む、ということが、今回
の催しで一層鮮明になったよう
な気がします。

マナーを守って見学を

星名家、両寺とも今後ともこ
うした催しを開催していく模様
で、地域住民にはありがたい限
りですが、いくつか課題もあり
ます。

一つには駐車場の問題です。

いずれの会場も、駐車スペース
が少なく、大勢が殺到すると周
囲に混乱が生じるおそれがあり
ます。これは、そう簡単に解決
できる問題ではありません。来
訪する側が、あらかじめ確認す
るなど配慮することが大切なよ
うです。

また、これらの会場は催しの
ために作られたものではなく、
宗教行事の場であり、実際の生
活の場でもあるわけです。

そうしたところを訪問する場
合の基本的マナーやエチケット
は、必ず守りたいものです。具
体的には、屋内では脱帽する、
座敷など畳の部屋では座って見
学する、家具や調度には手を触
れない、などです。

当たり前のことですが、なか
なか守られていないのが現状の
ようです。注意したいものです。

文化財は古く 企画は新しく

古い文化遺産に新しい息吹が
宿る催しは、これからも続けら
れますが、「家を残してくれた
先祖に感謝しながら、いろいろ
続けていきたいの。ただ、文化
財は古い方がいいが、企画は新
しくなくちゃだめだの（笑）」
（星名四郎さん）というように、
優れた企画との出会いがこれか
らの催しを左右しそうです。



長安寺の境内では、オカリナコンサートも開か
れました（10月1日）



世界的チェリストを招いてのコンサート（西永寺）

これが町のふところ具合！

平成14年度 決算

平成十四年度の町の決算が、九月十八日の議会定例会で認定されました。

このうち、一般会計の概要についてお知らせします。

歳入は、五四億九、九六五万円で、前年度より三・九％増加しました。歳出は、五一億四、九〇六万円で、これも、前年度より三・二％増えました。

歳出予算の執行率は九三・五％で、実質収支は二億四、九八〇万円となっています。

歳入は、町が自らの手で徴収することができる「自主財源」と、国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする「依存財源」によって構成されています。

自主財源には、町税、負担金、使用料、手数料、寄附金などがあり、依存財源には地方交付税、国県支出金、町債などがあります。

歳入全体における自主財源の比率は三三・五％で、前年より四・七ポイント増えていますが、これは、基金繰入金が三億一、五〇〇万円あまり増えたためです。依然として、依存財源の占める割合が大きい状況には変わりありません。

次に、歳出で特徴的なものを見てみます。

最も増減額が大きかった普通建設事業費については、賑わい空間

エリア内の道路整備や、千手保育園大規模修繕事業といった国・県支出金を活用した補助事業が大きく伸びました。また、千手郵便局の建築や生活道路の整備など、単独事業も積極的に実施したことにより、総額では前年度対比七・四％増の一三億五、六六四万円になっています。

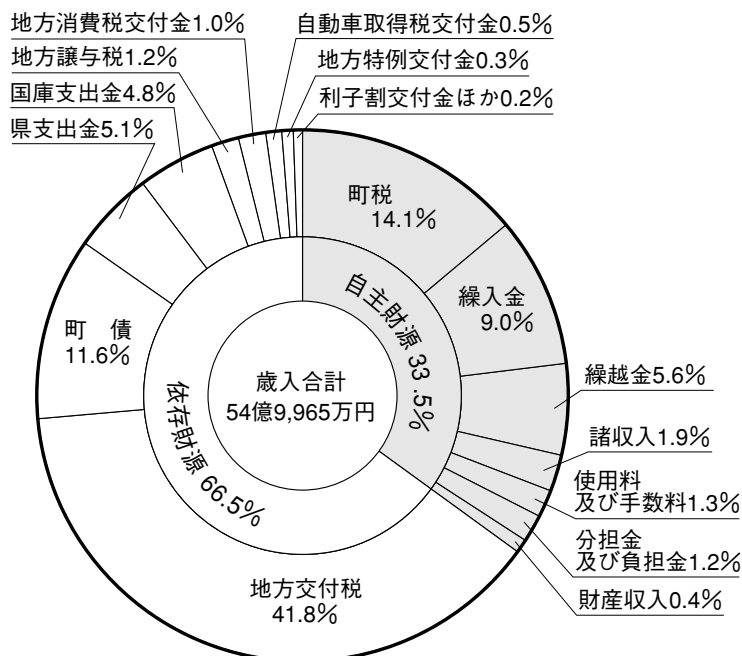
繰入金については、間もなく借入金償還費のピークを迎える下水道事業特別会計への繰出しが前年度を大きく上回り、繰出金総額の四五％を超える状況となっているほか、介護保険特別会計への繰り出しも、総額で前年度対比一一・二％増となっています。

さらに、公債費については、節黒城のコテージやスポーツパレスの建築、あかね会のデイサービスセンター建設補助など、史上最高の借入額となった平成一〇年度の町債の元金償還が開始されたことにより、前年度対比七・四％増となっています。

町財政の現状は、「貯金も大きい借金も大きい」という状況が続いており、黄信号から赤信号に変わりつつあるところといえます。

平成十四年度決算の目的別歳出の内訳は次ページのとおりです。

一般会計 歳入



特別会計 決算

国民健康保険	歳入	6億4,965万円
	歳出	5億7,537万円
国民健康保険診療所	歳入	2億4,278万円
	歳出	2億3,826万円
老人保健	歳入	10億7,428万円
	歳出	10億1,181万円
簡易水道事業	歳入	1,421万円
	歳出	1,418万円
下水道事業	歳入	4億1,080万円
	歳出	4億548万円
介護保険	歳入	5億129万円
	歳出	4億8,870万円

●議会費

7,635 万円 (1.5%)

定例会 11 日、臨時会 2 日を通して 109 件の案件を審議したほか、各委員会で付託事件を審査するとともに、先進地行政視察などを行い、まちづくりや市町村合併等の課題について調査・研究しました。

●民生費

7 億 3,087 万円 (14.2%)

千手保育園大規模修繕事業の占める割合が大きく、社会福祉、傷害福祉、高齢福祉などのほか、保育、児童手当、国民年金などの業務を進めるために要した費用です。

●総務費

5 億 2,822 万円 (10.3%)

人事、庶務、財政、交通安全、広報などの各分野での対応や、まちづくり、広域事業、市町村合併、税務、戸籍、選挙など多岐にわたる業務に要した費用です。



川西町で開催された第 3 回合併任意協議会

●消防費

1 億 8,450 万円 (3.6%)

十日町地域広域事務組合への負担金として支出されました。町内での平成 14 年の火災は 2 件、西分署の救急車出動は 246 回ありました。また、消防団員は 350 人となっています。

●農林水産業費

5 億 4,682 万円 (10.6%)

稲作や野菜などの農業振興のほか、林業振興、畜産振興、集落環境整備、農地の移動・管理などがあります。中山間地域総合整備事業の完了で事業費が減少しました。



仙田農村公園の「児童の吊橋」は新しい名所になりました

●労働費

2,249 万円 (0.4%)

十日町地域シルバー人材センターに委託して実施する業務がほとんどで、役場庁舎や総合センター、総合体育館などの宿日直業務、公園の草刈りなどがあります。

●衛生費

5 億 1,340 万円 (10.0%)

住民検診や予防接種、母子保健、老人保健など、健康と保健に関する業務のほか、生ごみリサイクル機械購入事業など環境衛生の分野の業務も含まれています。

●土木費

11 億 9,979 万円 (23.3%)

道路や水路の新設や補修工事、消雪パイプや流雪溝の整備、道路除雪、都市計画や町営住宅に関する費用のほか、千手郵便局舎建築事業など販

わい空間整備事業などが主なものです。

●教育費

4 億 1,510 万円 (8.1%)

学校教育、社会教育、社会体育、学校給食などの教育行政推進に要する費用が主なものですが、心の教室事業、山村留学など特徴的な事業も含まれています。

●災害復旧費

553 万円 (0.1%)

融雪や豪雨による災害で、道路一件の復旧事業が実施されました。融雪の場合は一日 200 mm、豪雨の場合は 24 時間最大雨量が 80 mm 以上が採択の基準になります。

●公債費

7 億 6,923 万円 (14.9%)

各種施設の整備工事を実施する際に町が借り入れる起債（借金）の元金や利子の支払いに充てられる費用です。その 7 割が交付税で補填される過疎債が最も多くを占めています。

●商工費

1 億 5,676 万円 (3.0%)

商工業の振興、観光振興などが主なものですが、大地の芸術祭など、広域事業として実施している里創プラン事業も負担金として支出しています。



広域で開催した「地球環境米米フォーラム」には多くの住民がボランティアとして参加しました

還暦・古希・喜寿…
おめでとう！
米 寿

九月十五日は敬老の日。今年も八十八歳（米寿）を迎えられた方、四〇人に町から敬老祝い品が贈られることになり、十五日、町長、助役、収入役が各世帯を訪問して直接祝い品をお渡ししました。お祝いを受けた方をご紹介します。

（順不同・敬称略）

小野塚源吉（東善寺）、丸山ヨシ（上町）、大溪晶子（上町）、清水イチ（田中町）、清水イク（神社町）、清水フミ（学校町）、白井スミイ（寺尾）、柄沢キミ（沖立）、丸山マキ（高原田）、登坂ミサ（高原田）、武田忠平（高原田）、高橋ヨウ（坪山）、高橋タカ（坪山）、高橋新一郎（坪山）、高橋てい（坪山）、中村ウノワ（坪山）、高橋ハナ（坪山）、蔵品トノ（霜条）、茂野キクノ（発電所通東）、高野コウ（あかね園）、江口薫（あかね園）、押木徳次（元町）、川崎ハルノ（新町新田）、若山三

川西町長寿者番付

平成 15 年 9 月 15 日現在

（敬称略）

（平成 16 年 4 月 1 日満年齢）

東						西				
氏 名	住 所	世帯主	生年月日	年齢		氏 名	住 所	世帯主	生年月日	年齢
田 口 キ ヨ	木 落	直 正	M36.1.7	101	横綱	小 海 ク ヨ	小根岸	益 男	M36.10.23	100
高 橋 ヒ サ	中仙田	恒 平	M 37.3.4	100	大関	根 津 英 作	上 野	本 人	M37.12.21	99
星 野 ミ ン	野 口	勝 平	M 38.4.4	98	関脇	高 橋 セ キ	あかね園	本 人	M39.2.9	98
羽 鳥 イ セ	伊 友	昭 二	M 40.2.3	97	小結	清 水 ミ ヨ	寺 尾	久 一	M40.2.13	97
星 名 フ ミ	あかね園	本 人	M 40.3.10	97	前頭	星名マサヲ	伊 友	和 幸	M40.9.27	96
中村チヤノ	岩 瀬	昌 弘	M 40.11.15	96	2	大井カツノ	寺 尾	佐 市	M40.12.2	96
相 馬 周 蔵	木 落	敏 夫	M 41.1.28	96	3	小 海 ヨ キ	あかね園	本 人	M41.2.24	96
北 村 セ ツ	東善寺	準 一	M 41.3.20	96	4	高 橋 チ カ	あかね園	本 人	M41.4.1	96
関 口 ト ク	木 落	清	M 41.5.8	95	5	田 口 フ ジ	木 落	喜太郎	M41.9.14	95
今 藤 ミ セ	上 野	琢 也	M 41.9.18	95	6	南 雲 マ ツ	中屋敷	利 夫	M41.9.22	95
田 中 利 八	仁 田	春 吉	M 41.11.5	95	7	大 井 正 司	美咲町	本 人	M41.12.13	95
小林フジエ	木 島	松 市	M 42.1.31	95	8	小 川 ソ カ	上 野	昭 一	M42.4.25	94
小 川 ノ ブ	岩 瀬	充	M 42.8.8	94	9	桐 生 梅 治	大白倉	本 人	M42.9.2	94
蔵品マスイ	霜 条	清 市	M42.9.3	94	10	丸 山 フ ジ	あかね園	本 人	M42.9.15	94
真明キクエ	上 野	成 光	M42.9.18	94	11	小 林 セ ツ	中屋敷	英 一	M42.10.6	94
小 林 サ ワ	中屋敷	晃	M 42.11.8	94	12	高 橋 き つ	赤 谷	直 孝	M42.11.10	94
大 井 ミ ヨ	美咲町	正 司	M 42.12.17	94	13	高 橋 ハ ノ	中仙田	善 一	M43.1.28	94
星 名 佐 平	伊 友	敏 雄	M 43.2.17	94	14	登 坂 キ ン	中島町	ミサヲ	M43.3.12	94
金 子 芳 英	岩 瀬	敬	M43.3.22	94	15	佐 藤 ハ ル	あかね園	本 人	M43.4.1	94
須 藤 ミ ノ	下 原	博 英	M 43.5.12	93	16	市 川 ト イ	中屋敷	松 男	M43.5.13	93
清 水 寛 治	中央町	本 人	M 43.6.1	93	17	太 田 キ イ	田中町	克 治	M43.7.24	93
藤 卷 和 夫	塩 辛	幸 夫	M 43.8.1	93	18	田口誉治郎	木 落	静 雄	M43.8.15	93
水 品 ト ヤ	新町新田	成 良	M 43.8.31	93	19	田 中 ス ミ	発電所通東	本 人	M43.10.10	93
高 橋 政 市	室 島	行 雄	M 43.10.10	93	20	高 橋 ヤ ス	坪 山	武 巳	M43.10.15	93
根津富士松	上 野	精一郎	M 43.10.19	93	21	星 名 ス ガ	伊 友	敏 雄	M43.11.25	93
数 藤 信 善	沖 立	信 行	M 44.1.11	93	22	星 名 栄 吉	伊 友	賢 一	M44.1.17	93
星 名 リ セ	伊 友	武 夫	M 44.1.22	93	23	丸 山 ナ カ	新町新田	浩 司	M44.3.4	93

「第二回大地の芸術祭」 閉幕

七月二十日に開幕した「大地の芸術祭・妻有アートトリエンナーレ2003」も、九月七日に五〇日間にわたる会期を終え、無事終了しました。

会期中は、六市町村の圏域内で二二四の野外展示作品と建築業界で注目を集めた三ステージの紹介、国内外から公募により

ず、期間中宿泊は満杯で会期後も満室状態が続いており、見学者も前回は越える一万人の方からお越しいただきました。

今回、川西町で展開された作品はそのほとんどが地域住民との協働によって生み出されたものでした。特に新田和成さんの作品「ホワイトプロジェクト」では、町民のみならず六市町村



こへび隊の皆さんによる「ホワイトプロジェクト」撤去作業

この「敬老の日」ですが、兵庫県多可郡野間谷村（現在の八千代町）の村長が提唱した「としよりの日」が始まりで、「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう」と、昭和二十二年から、気候の良い九月中旬の十五日を「としよりの日」と定め敬老会を開いたのがきっかけで、これが全国に広がったといわれています。

川西町の今年の敬老会対象者（七十五歳以上）は、千手地区五三五人、上野地区二七一人、橘地区二九二人、仙田地区二二七人の合計一、三二五人で、参加者は民謡・舞踊などの舞台を堪能されていました。

多年にわたり社会につくし、二十世紀を駆け抜けてきたみなさんの笑顔は、とても輝いています。



田口町長から記念品を受ける吉井正司さん（仁田）



押木助役から記念品を受ける白井スミイさん（寺尾）



根津収入役と記念写真に収まる高橋ミヤさん（三領）

期間中の不順な天候にもかかわらず、第一回を二六パーセント上回る二〇万五、一〇〇人の現代アートを愛好する人たちが妻有地域を訪れ、期間中をとおして地域住民と和やかなふれあいを楽しみました。

当町においては前回の恒久作品一五作品に加えて、今回、新たに九作品が設置されました。光の館は前回作品にもかかわら

この作品と住民との掛け橋となったのがこへび隊の皆さんです。彼らは雪解け前から妻有に入り、何もわからないこの地域で戸惑いながら、町中の学校や老人施設、公民館教室から山村のお年寄りの集まりにまで赴き、一生涯懸命呼びかけを行ってきました。そのひたむきな活動がこれだけ多くの住民を作品づくりに導いたといえるでしょう。

また、市町村イベントとして実施した「天神ばやしワールド」では、妻有地方に伝わる祝い唄をテーマにルーツ、正調、そして創作天神ばやし披露され、さわやかな夏の夜をみんなで楽しみました。特に住民一〇〇人で踊り歌い合った「天神ばやしかわにし Gottakui!」は踊り子から衣装づくりまですべて住民ボランティアで、小学生から年配の方まで一体となって創り上げた、まさに踊る芸術作品と呼べるものでした。

この大地の芸術祭で培われた作家と住民、住民と他地域の住民、そして地域内の世代間のつながりをこれからも大切に育て、第三回大地の芸術祭につなげていきたいものです。

真剣に考えよう 合併について その二十四



いよいよ、合併するか、自立するか最終判断を住民の皆様とともに決断する時が迫ってきました。

今後、町では合併任意協議会での協議結果を踏まえて、合併問題に対する方針をまとめ、住民懇談会やアンケート調査などを行います。最終的には住民の皆様のお気持ちを十分に聴取したうえで、今後開催される川西町議会へ、行政としての考えを提案し、町議会の判断に委ねたいと考えています。

できる限り大勢の住民の皆様のご意見をお聞きたいので、今月下旬から開催される住民懇談会に積極的なご参加をお願いします。

市町村合併 住民懇談会

大勢の参加をお願いします

十月二十七日（月）から約一か月の日程で、市町村合併住民懇談会を開催します。

住民懇談会では、合併任意協議会で協議した項目をもとに、構成五市町村（十日町市、川西町、中里村、松代町及び松之山町）が合併した場合に、行政制度や住民サービスがどのようになるか、合併により誕生する新市が、どのような地域づくりを進めていくかや、自立（合併しなかった場合）を選択したときに、「川西町を運営していける



昨年の住民懇談会の様子

か」など、昨年の住民懇談会では、お話できなかった内容について、より詳細な説明を行いたいと考えています。
ぜひ住民懇談会にご参加ください。

平成 15 年度 市町村合併住民懇談会 日程表

回数	期 日	地 区	会 場	開会時間
1	10月27日（月）	千 手	鶴霜集落開発センター	午後 7 時～
2	10月28日（火）	上 野	上野地区コミュニティセンター	//
3	10月29日（水）	橘	木落構造改善センター	//
4	10月31日（金）	仙 田	仙田コミュニティセンター	//
5	11月 4日（火）	千 手	山野田公民館	//
6	11月 5日（水）	上 野	元町集落開発センター	//
7	11月 6日（木）	橘	高齢者コミュニティセンター	//
8	11月10日（月）	仙 田	室島集落センター	//
9	11月11日（火）	千 手	川西町総合センター	//
10	11月13日（木）	上 野	新町新田ふれあいセンター	//
11	11月17日（月）	橘	野口集落センター	//
12	11月18日（火）	千 手	伊友公民館	//
13	11月19日（水）	仙 田	岩瀬集落センター	//
14	11月20日（木）	千 手	中屋敷集落開発センター	//
15	11月21日（金）	上 野	川辺集落センター	//
16	11月23日（日）	千 手	川西町総合センター	午前 9 時 30 分～
17	11月27日（木）	橘	橘地区農事研修センター	午後 7 時～
18	11月28日（金）	仙 田	A コープ白倉店	//

かわにし合併物語

合併問題について、広く住民の皆様を検討していただくことと、多くのご意見を伺うために、今年もつぎのような取り組みを行います。

合併検討資料を配布します

住民懇談会で使用する合併検討資料「みんなで考えよう市町村合併（検討資料第3版）」を十月二十日に町内全世帯に配布します。

市町村合併を検討する重要な資料ですので、ご家族でご覧いただき、住民懇談会にご持参ください。

アンケート調査を実施します

市町村合併に対して住民の皆様の意向を確認するために、アンケート調査を来月中旬頃から実施します。

アンケートの内容及び調査方法については、来月号でお知らせしますが、アンケート用紙がご家庭に届きましたら、お忙し

いところ恐縮ですが、ご協力をお願いします。

ご活用ください

本紙とともに、町内の嘱託員さんを通じて、「肌色のはがき」を配布しました。（左図）

このはがきは、まちづくりへの提言やあなたの話題のほか、合併問題に対しての疑問や不安、及び五市町村での合併についての意見などをお寄せいただくためにご活用ください。

検討資料や住民懇談会の感想などのご記入も、お願いします。

▶ 皆様の貴重な意見をお寄せください

（今後の取り組みを確認） 庁議で了承される

十月三日に町長、助役、収入役、教育長及び各課長等で構成する庁議が開催されました。

内容は、市町村合併問題について、住民の皆様意向を確認するために実施する、「住民懇談会の計画」や「検討資料（第3版）の構成」及び「アンケート調査の内容」などの取り組み方法を協議しました。

併せて、住民の皆様が興味を抱かれています、『川西町が自立を選択した場合（合併しなかった場合）の財政シミュレーション』についても検討され、十月二十日に全戸配布する資料に掲載することで了承されました。



活発な議論を展開した庁議の様子

こちら合併任意協議会

第九回合併任意協議会

平成十五年九月十九日に松代町総合センターを会場に「第九回十日町広域圏合併任意協議会」が開催されました。関谷松代町長が議長となり、議案二件、報告四件が議題として提出されました。協議された内容はつぎのとおりです。

協議内容

○報告第一号 市町村議会改選に伴う協議会委員の交代について 松之山町議会（九月八日）の議会人事に伴い、村山里志さん（新任）、高橋英一さん（新任）の二人の交代について報告されました。

○議案第一号 平成十五年度十日町広域圏合併任意協議会補正予算（第二号）について 電算で処理されている「財務会計、上下水道料金及び保育料など、業務システムの統合に係る調査分析費を主なものとした補正予算案が審議され、承認されました。今回の補正額は、一、〇四六



過去最高の事務事業項目を協議した協議会

○議案第二号 事務事業協議について 今回の合併任意協議会では、前回の協議において、五年後の負担発生を心配し、差し戻しとなった「克雪利雪関係」を含め、一〇分野から三〇件の項目を協議しました。なお、障害福祉関係事業に関する「重度心身障害者医療費」については、療育手帳B所持者の方への助成について、再検討が必要とのことから、差し戻しとなりました。また、上下水道関係事業及び下水水道関係事業の二分野については、時間切れとなり次回に協議することになりました。

10

新市建設計画(素案)策定を諮問

新市将来構想検討委員会



諮問書の交付を受ける高津委員長（中里村総合センター）

合併歳時記

▼九月十日（協議会事務局）

十日町広域圏合併任意協議会の第十五回幹事会（助役・合併担当課長で構成）が開催されました。

▼九月十一日（協議会事務局）

第一回財政・計画担当課長会議が開催されました。

▼九月十六日（活性化センター）

十日町広域圏合併任意協議会の川西町選出委員と役場担当課で第九回協議会の議案について事前検討会を開催しました。

▼九月十九日（松代町）

第九回十日町広域圏合併任意協議会が開催されました。

▼九月十九日（松代町）

第三回新市の名称案選定小委員会が、合併任意協議会終了後に開催されました。

▼九月二十二日（協議会事務局）

第十六回幹事会が開催されました。

▼九月二十四日（中里村）

第十一回新市将来構想検討委員会が開催され、新市建設計画（素案）の策定について諮問されました。

▼九月二十九日（協議会事務局）

第十七回幹事会が開催されました。

▼十月三日（役場委員会室）

庁議を開催し、市町村合併問題について、住民の皆様のご意向を伺うための、今秋の取り組みについて協議しました。

▼十月六日（協議会事務局）

幹事会・財政・計画担当課長合同会議が開催されました。

▼十月七日（協議会事務局）

幹事会・財政・計画担当課長合同会議が開催されました。

▼十月八日（協議会事務局）

幹事会・財政・計画担当課長合同会議が開催されました。

▼十月八日（協議会事務局）

第十七回幹事会が開催されました。

新市将来構想検討委員会

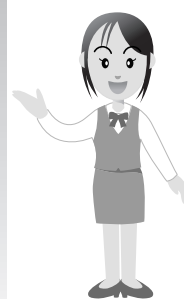
第13回

10月20日（月）
午後1時30分から
十日町市保健センター

第12回

10月10日（金）
午後1時30分から
川西町総合センター

お知らせ



▼十月九日（役場委員会室）

議会全員協議会が開催され、市町村合併問題の取り組みについて協議しました。

第11回 合併任意協議会

平成15年10月28日（火）
午後1時30分から
松之山町自然休養村センター

第10回 合併任意協議会

平成15年10月16日（木）
午前10時から
十日町市クロス10

いずれの会議も傍聴ができます。
大勢の住民の皆様のお越しをお待ちしています。



5 年男子 400 メートルリレーで力走する千手小チーム（手前）

第7回 十日町市・川西町小学校 親善陸上大会結果

9 月 26 日、十日町市笹山陸上競技場で、第 7 回十日町市・川西町小学校親善陸上大会が開催されました。

※ 1 位～ 10 位までの上位 3 位を紹介します。ただし、10 位までに町内小学校の入賞者がいた場合、それを含め上位 3 位とします。

5 年 男 子			5 年 女 子		
100 メートル			100 メートル		
①根津恒陽（下条）	②岩田翔汰（中条）	⑩南雲陽介（千手）	①高橋りほ（千手）	②根津愛華（東）	③村山弥智恵（東）
1500 メートル			800 メートル		
①春日菖吾（吉田）	②庭野竜徳（十日町）	③根津恒陽（下条）	①樋口真央（仙田）	②野上茉弥（鎧島）	⑩白井咲貴（千手）
走り幅跳び			走り幅跳び		
①池田大介（十日町）	②福島 涼（中条）	⑨金井 壘（千手）	①村山 茜（下条）	⑤渡辺綾音（上野）	⑩渡部亜紗美（橘）
走り高跳び			走り高跳び		
①矢口智士（十日町）	②小林成毅（水沢）	③小林直登（千手）	①高橋りほ（千手）	①田中佑希穂（千手）	①金澤彩子（馬場）
80 メートルハードル			80 メートルハードル		
①佐野哲平（十日町）	④秦野喜三彦（橘）	⑦星名陽太（千手）	①村山弥智恵（東）	⑤柳まどか（千手）	⑩畠山亜利紗（千手）
400 メートルリレー			400 メートルリレー		
①下条小	②十日町小		①東小	②十日町小	
④千手小（小林翔吾、南雲陽介、羽鳥心之介、星名陽太）			③千手小（橋本幸、保坂優季、柳まどか、高橋りほ）		
6 年 男 子			6 年 女 子		
100 メートル			100 メートル		
①村山良太（十日町）	②吉楽和馬（川治）	⑤丸山廉太（千手）	①大島里穂（東）	②大島苑香（東）	⑧田村鈴香（上野）
1500 メートル			800 メートル		
①水落悠樹（十日町）	②丸山允央（千手）	⑩丸山文央（千手）	①太田直子（鎧島）	②太田美穂（東）	④丸山夏織（千手）
走り幅跳び			走り幅跳び		
①中林裕太郎（西）	②小杉 誠（下条）	③佐藤亮太（野中）	①水落由夏（下条）	②田村鈴香（上野）	③大島里穂（東）
走り高跳び			走り高跳び		
①吉楽和馬（川治）	②南雲元貴（川治）	⑨富井 淳（上野）	①小海彩乃（上野）	⑤井川理恵（上野）	⑩高橋智子（上野）
80 メートルハードル			⑩江口愛美（橘）		
①丸山廉太（千手）	②柳 貴大（川治）	⑦和田祐太（東）	80 メートルハードル		
400 メートルリレー			①高橋麻実（十日町）②曾根悠希（中条）⑥片桐知美（千手）		
①川治小	②十日町小	③下条小	400 メートルリレー		
混成 400 メートルリレー			①川治小		
①六箇小	②野中東下組小		⑤千手小（丸山夏織、片桐知美、尾身幸奈、引間美里）		
⑥仙田小（斉木俊樹、登坂美咲、登坂大地、樋口真央）			⑥上野小（高橋莉子、田村鈴香、丸山瑠衣子、小海彩乃）		

● 議会報告 ●

九月一日から始まった第四回川西町議会定例会は、二十四日に全日程を終え、閉会しました。

一日は、諸般の報告や特別委員会の中間報告などが行われた後、議長・副議長選挙が行われ、議長に吉楽正実さんが、副議長に北村公男さんがそれぞれ再選されました。続いて常任委員・議会運営委員・特別委員・監査委員の選任等が行われました。十七日は、諸般の報告の後、七人による町政に対する一般質問が行われました。

十八日は、平成十四年度川西町一般会計ほか六つの特別会計、水道事業会計の歳入歳出決算が認定されました。

二十四日は、専決処分された平成十五年度川西町一般会計補正予算（専決第四号）が承認された後、平成十五年度川西町一般会計補正予算（第三号）、下水道特別会計補正予算（第一号）が原案どおり可決され、川西町教育委員会委員の任命同意や川西町固定資産評価審査委員会委員の選任同意、二件の発議案などが可決されました。

なお、議会の模様は十月二十日発行の「議会だより」の中で詳しく報告されますので、ご覧ください。

元町こそ上野村

元町が上野村の本家本元であるということは、すでに述べた。

信濃川の西岸―関田山脈の山すそ伝いに進む道は、信越国境を過ぎると信州の市川郷に入るので、市川道と呼ばれていた。

その先に長野の善光寺があることから、俗に善光寺街道とも呼んでいた。

市川郷を拠点（野沢温泉村市川）としていた市河氏がいて、南北朝時代には北朝の足利方に属していた。南朝につながる越後の新田一族と戦い、当地方の大井田氏などと正面衝突し、国境の志久見川を越えて赤沢（津南町）まで攻め込んできている。

今は小千谷市本町の二荒神社境内に移されているが、昔は寺町の分岐点にあったという大きな道標に、「右 善光寺街道十日町千手」とある。ここからが市川道で、山すそ沿いに野口・仁田・元町・霜条などを経て稲葉・山谷へ通じ、羽倉越えして信州へ入っていった。

現在の元町は、沢々の出水を利用して水田を広げ、この道筋にムラ立てして上野と称した。

再々述べてきたように、大昔の開田は、水利の便というよりも、むしろ湿地といわれるようなところが初期の稲作に便利で

あった。

昭和三十年代の基盤整備で耕地の状況は一変したが、それまでの現集落東下段は、ヤチダツポ（谷内田圃）といわれるような泥深い地層が続いていた。

節黒城の時代

南北朝時代の正平七年（南朝年号、一三五二）に、武蔵国小手指ヶ原で足利勢と戦って敗れた新田義宗は、越後に退いて再起を図り、節黒城を築いた。

この当時、中条（十日町市）には大井田氏が立てこもり、上

興徳寺・曹源寺が、元町にあったという具体的資料も残っている。

さらに上野氏が開基になって、現代に引き続く長安寺を、元亀元年（一五七〇）に創建している。

このような事実を背景にして、古い市川道に沿う現在の元町集落は、すでに上野村と称している堂々たるムラであり、その上野村に城を構え居住した里見氏の後継者が、地名を採って上野氏を名乗ったことが明らかである。

おらうらの話

（第三十回）

上野 上村政基

野（元町）・霜条を中心とする川西地方は、新田一族の里見氏が拠点にしていたと考えられている。数多い板碑（自然石梵字碑）は、その具体的な証拠であるという。

また、戦国時代には、長尾為景・上杉謙信に属す有力武将としての上野氏が節黒城を守りにしていた。平時の上野氏は元町地内に住み、永正三年（一五〇六）の譲状には「千田口（仙田口）・芹合田」地名が書かれている。

上野氏から出た住職の務める



上野氏により創建された長安寺

拠点とする地名を名乗りにするのは当時の例であり、源氏の一族であって上州の新田庄に住んだ新田氏、足利庄にいた足利氏、さらに対岸の中条を拠点とする大井田氏などは適例である。

消えた中子遺跡

ムラの発生とは無関係であるけれども、現在のナカゴグリーパークの位置に、巨大な縄文時代の遺跡があった。

昭和二十年代までの中子の山は、村人たちの生活に直結する有力な薪炭採草地として、大切なところであった。個人有・共有地が入り組んではいたが、緩い傾斜地に灌木が生い茂り、若干の杉林もあって貴重な保水涵養地としての役目も果たしていた。

敗戦後の食糧難を解決するために、昭和二十年代末から開墾計画が立てられ、三十年代に入って着手された。

すると、思いがけなく多量の石器・土器や石鏃（矢じり）が発見され、見事に整った住居跡まで姿を現した。

そのうちに、びっしり河原石を敷き詰めた部分が見つかり、調査範囲を広めるにしたがつて、長径約一〇〇メートル、短径約六〇メートルの楕円形をし、敷石幅二〜三メートルの環状配石遺構（縄文時代後期か）

であることが分かった。

二〇メートル間隔くらいのところどころには、特に長石を放射状に揃えた中央に柱石を立ててあり、県内には例のない大規模遺跡である。

専門家の調査で、縄文時代早・前・中・後期と続く、およそ三〇〇〇年にも及ぶ長期間の遺跡であることが分かった。

しかし、開発工事を急ぐあまりに、具体的調査を行わないまま、遺跡はつぶされた。十日町市の笹山遺跡から出土した火焔型土器をはじめとする多量の遺物が、国宝指定を受けて学術研究の場に提供されている現在、消えてしまった中子遺跡へのうらみは尽きない。

上野とつづ地名

「上野」は、文字どおりに「野の上」という意味であるが、緩い斜面になっているところの最上部が「うえの」で、斜面の中途にあるのが「うわの、いわの」である。

現元町集落の位置が「うえの」で、東京の上野をはじめ全国に例が多い。「うわの、いわの」は、下条の岩野や津南町の上野、塩沢町の上野鉾泉などがある。

「本町村」と書いた古文書がいくつもあり、元町が本家本元であることを、そのまま物語っている。



「ご存知ですか介護保険」 介護サービスって 何？②

～急がば回れの巻～

前は、介護サービスには、どんなものがあるのか代表的なサービス十八種類のうち、居宅サービスの①番から⑥番まで確認しました。今回は⑩番までみていきましょう。



こんにちは。ただ今ケアマネージャー目指して勉強中の健康シエンです。

介護サービスを全部覚えるのには、まだまだ先は長そうだけれどがんばります。

でも…暗記は昔から大の苦手なんだよなあ…。

今年のケアマネジャーの試験

は、確か…えっ十月二六日。うわっもう時間がないぞ。何かパツとすぐに覚えられればいい方法はないのかなあ…。

あらあら、また今回も困っているようです。シエン君、そんなにすぐに覚えられる方法なんてありませんよ。

あせらずに一つ一つゆっくりと確認していけばだいじょうぶ。急がば回れです。

それでは⑦番からみていきましょう。

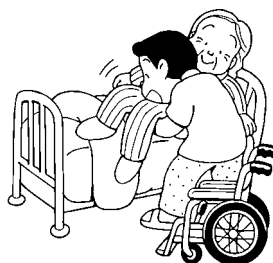
⑦通所介護 デイサービスと呼ばれるです。デイサービスセンターに行き、日帰りで食事や入浴などの介護サービスや機能訓練が受けられます。

⑧通所リハビリテーション デイケアと呼ばれています。介護老人保健施設や病院等で、日帰りのリハビリなどが受けられます。

デイサービスやデイケアは、家に閉じこもりがちな要介護者を、外に連れ出すことにより、気分転換になり、心身ともにリフレッシュしてもらう効果も期待できます。

⑨短期入所生活介護 ショート

ステイと呼ばれるです。介護老人福祉施設などに短期間入所して、食事や入浴などの介護や機能訓練が受けられます。



⑩短期入所療養介護 医療型ショートステイと呼ばれるです。介護老人保健施設などに短期間入所して、医療や介護、機能訓練などが受けられます。

ショートステイは、介護をする家族が病気や旅行などで、介護ができないときの助け舟です。介護する側が疲れきって、逆に介護が必要になってしまつてはたいへんです。これらのサービスを上手に利用して、介護する側される側、お互いに気持ちよく暮らしたいですね。

ふむふむ。介護は知れば知るほど奥が深いなあ。介護される側だけでなく、介護する側のことも考えられているんだね。

よし、また一步ケアマネジャーに近づいたぞ。早く試験を受けたくなつてきちゃった。

ちなみに…シエン君とっても大切なことを忘れていませんか？第五回で勉強したことを思い出してください。

ケアマネジャーになるための試験を受けるには、保健・医療・福祉などの資格を持ち五年以上の実務経験が必要なんですよ。

それに…願書の受付締切も過ぎていますよ。

とほほ…。

うふふ。そんなに落ち込まないで。今のうちに学んでおけば、いずれきっと役に立ちますよ。急がば回れです。

●問い合わせ けんこう支援課 介護保険係 ☎68-4957 (内線234)

タバコ 役場 No.29

もうタバコが吸えない!?



役場入り口前に設置されたタバコの吸い殻入れです。

先月から、役場庁舎（総合体育館、総合センター等を含む）が全面禁煙になったため、喫煙者からご協力をいただくために置かれたものです。

これに伴い、庁舎内の喫煙所はもちろん灰皿、吸い殻入れ

れ等は全て撤去されました。

じゃあ、愛煙家の職員はどうしてるかって？ 庁舎外、つまり建物の外の決められた場所

で煙をくもらせています。これを機会にタバコをやめた職員がわんさかいた！

という話は、まだまだできないようです。

平成十六年度 保育園入所申し 込みの受け付け

* 受付期間

十月十五日（水）～
十一月十四日（金）

* 入所資格

川西町に住民登録があり、家
庭で保育ができない児童。

* 申し込み方法

役場住民福祉課及び各町立保
育園に備え付けの「保育所入所
申込書」に必要事項を記入し、
必要書類を添付して役場住民福
祉課福祉係へ提出してください。

* 申込書添付書類

・「保育所入所児童家庭調査表」
・入所希望の理由が「疾病・負
傷・病人の介護」などとなる方
は、医師の診断書が必要となり
ます。

* 注意事項

・入所申し込みは保育園の運営
において重要なことであります
ので、受付期間内に申し込み
いただき、できるだけ年度途中に
よる入所にならないようお願い
いたします。

・心身の障害などで団体生活が
できない児童については、入所
できないことがあります。

・家庭内に入所を希望する児童
が二人以上いるときは、児童ご
とにお申し込みください。

・当初の入所申し込み時に「保
育の実施を希望する期間」を就
学前までとした児童について
は、新たに申し込みの必要はあ
りません。「保育所入所児童家
庭調査表」のみ、在園の保育園
へ提出してください。

・家庭状況をお尋ねしますの
で、申込書はご家族の方が持参
してください。

千手保育園で行われる 特別保育サービス

平成十五年度から千手保育園
では次の特別保育サービスを実
施しています。千手地区以外の
児童でも入所可能ですので、お
気軽にお申し込みください。

【乳児保育】

産休明け（生後二か月）の乳
児から保育園で預かりいたし
ます。出産前でも申し込み可能
です。定員は六人です。でお早
めにお申し込みください。

【延長保育】

保育園を十二時間（午前七時
～午後七時）開設して、お子さ
んをお預かりいたします。（間
食費等の保護者負担がありま
す。）

【一時保育】

冠婚葬祭・急な疾病・不定期
なパート勤務・育児疲れなどの
とき、一時的にお子さんを保育

園でお預かりいたします。（保
護者負担があります。）

* お問い合わせ先

役場住民福祉課福祉係
（☎68-3111内線201）

* 保育所一覧

施設名	定員	開設時間	受入年齢	通常保育以外の保育サービス等
千手保育園	100名	7:00～19:00	2か月から	乳児・延長・一時・学童・障害児保育 施設開放・育児相談
上野保育園	60名	7:30～18:00	10か月から	障害児保育・施設開放・育児相談
橘保育園	80名	7:30～18:00	10か月から	障害児保育・施設開放・育児相談
仙田保育園	30名	7:30～18:00	10か月から	障害児保育・施設開放・育児相談
計	270名			

総合センターの利用についてお願い

町では、平成十六年度、十
七年度の二か年度をかけて総
合センター脇に生涯学習施設
を建設し、生涯学習の拠点施
設として皆様からご利用いた
だくべく計画を進めていると
ころです。

この生涯学習施設建設に伴
って、総合センターの改修も
一体的な工事として進められ
ることから、工事期間中（平
成十六年六月～平成十八年一

月まで）は総合センターの利
用ができません。

また、工事の準備のため、
総合センターの利用受け付け
は平成十六年三月三十一日ま
でとさせていただきますので、
ご理解とご協力をお願い
いたします。

● お問い合わせ先

総務課行政係 ☎68-31
11（内線302）

「川西町の板碑」

好評発売中！



長徳寺板碑

南北朝の歴史を秘める川西町
で平成七年に開催された「越後
板碑サミット」の全記録が収め
られた貴重な書籍です。お宅の
書棚に一冊置いてみませんか。

■参加された先生方（肩書は当時）

竹田 和夫氏 新潟県教育庁文
化行政課

千々和 到氏 国学院大学教授
水沢 幸一氏 中条町学芸員
赤沢 計真氏 新潟大学教授
小野田政雄氏 板碑研究家
山田 邦明氏 東京大学助教授
佐野 良吉氏 十日町市史編さん委員
上村 政基氏 川西町文化財調査審議会委員

■頒価 一、五〇〇円（送料別）

■購入申し込み・問い合わせ

川西町教育委員会

〒948-0101

川西町霜条一四四

☎68-2167

催し

第三十四回中魚沼郡・十日町市 錦鯉品評会

毎年、川西町から多くの錦鯉が出品され、優秀な成績を収めています。当日は即売も行っています。どうぞ、お気軽にお出かけください。

- 日時 十月十八日(土)
- 会場 クロス10
- 出品鯉の搬入及び受付
午前八時半～十時
- 一般公開 正午～午後三時
- 問い合わせ 農林振興課振興係
☎68-4954内線332

高齢者交通安全大会のご案内

高齢者が九月から十一月までの三か月間無事故に挑戦する「いきいきクラブ交通安全コンクール」期間中の行事として高齢者交通安全大会を開催します。

郡市内の高齢者はどなたでも参加できます。

十日町市北越幼稚園児によるマーチング鼓隊演奏や、川西町交通安全協会女性部による交通

安全寸劇などがあり、楽しく交通安全を学ぶことができます。お誘い合わせておこしください。

※全員に参加賞があります。

- 期日 十月二十三日(木)
- 時間 午後一時半～三時
- 会場 十日町市民会館 大ホール
- 問い合わせ 十日町交通センター
☎57-6055

教室

IHクッキングブー ター体験料理教室

「IHで作る
秋のおすすり中華!」

- 期日 十月二十八日(火)
- 時間 午前十時～午後一時
- 内容
 - ・帆立おこわ
 - ・冷しゃぶと揚げ秋野菜サラダ
 - ・銀鮭の中華風照り焼き
 - ・胡麻プリン
- 申込締切 十月三十一日(火)
- ところ 東北電力(株)十日町営業所クッキングスタジオ「エプロン」
- 参加費 五〇〇円
- 持ち物 エプロン
- 募集定員 十八人

募集

そば打ちスペシャリスト 育成養成講座受講生募集

町では、そば打ち名人を育成するため、左記により養成講座を開催します。受講を希望される方は、ぜひお申し込みください。

- 応募資格 町内在住者で二〇歳以上の方 性別は問いません
- 条件 町で開催するイベントに協力できて、講座終了後、後継者育成指導ができる方
- 講座 十月下旬から十三回位開催予定
- 会場 仙田体験交流館・仙田おおけやきの宿
- 募集人数 一〇人限定(先着順)
- 申込期限 十月十七日(金)
- 申込方法 電話申込みとし、後日細部の説明をします。
- 受講料 無料
- その他 講座に必要な道具は、主催者が用意します
- 申し込み・問い合わせ 農林振興課振興係
☎68-4954

相談

行政相談会のお知らせ

総務省が実施する行政相談週間にあわせて、川西町でも行政相談委員による相談会を開催します。行政に関する疑問や要望など、お気軽にご相談ください。なお、日時及び会場は次のとおりです。

- 十月十二日(日)
- 会場 高齢者コミュニティセンター
- 時間 午後一時～三時
- 十月二十六日(日)
- 会場 川西町総合センター
- 時間 午後一時～三時

その他

十日町警察署から 事業主の皆様へお願い

「不法就労外国人を
雇用しないために」

- 外国人を雇用する場合は次のことをよくご確認ください
- ◆正規のパスポート及び外国人登録証明書を持っているか
- ◆パスポートに記載された滞在期間が過ぎていないか
- ◆「資格外活動許可証」等を持つ

っているか
※ただし、次の人たちは制限なく雇用できます「永住者」「日本人及び永住者の配偶者」「定住者」

不法滞在者を雇用すると罰せられます

法律(出入国管理及び難民認定法)により、事業活動に関して外国人に不法就労活動をさせたものは「三年以下の懲役若しくは二〇〇万円以下の罰金」に科せられます。

※不法就労とは・・・
①不法に入国したり、在留期間が過ぎた後も不法に滞在する等、正規の滞在資格がないのに日本国で働くこと

②正規の在留資格を持っていないが、その資格で認められた以外の活動を許可を受けずに働くこと

9月22日より、
役場庁舎が全面禁煙となりました。(町長室と議長室を除く)
総合体育館・総合センター・国保診療所も同様です。
皆様のご協力をお願いいたします。
※助役室が3階に移動しました。

旧軍人軍属及び その遺族の皆様

「恩給受給者の死亡失権手続きが簡単になりました」

旧軍人軍属御本人又はその遺族の方で、恩給を受給していた方が死亡した場合には、その遺族又は相続人が、直接、総務省人事・恩給局へ電話し、受給者名・死亡年月日・恩給証書の記号番号等を伝えれば、失権届等の提出が不要になりました。

■問い合わせ

総務省人事・恩給相談室

☎03-5273-1400

新潟県福祉保健課課保護恩給室

☎025-280-5180

エコバック有効活 用の協力について

スーパーなどでレジ袋をもらわず持参した「エコバック」を使用することで、ごみ減量につながります。

食料品や日用品の買い物の際に持参し、会計時に店の袋などをもらわないようにしましょう。「エコバック」を有効活用し環境にやさしい暮らしのために、皆様のご理解とご協力をお願いします。

また、ごみの出し方や処理の

分らない物については、各家庭に配布されてありますごみ便利帳で確認しルールとマナーを守って出してください。

■問い合わせ

十日町地域衛生施設組合

☎52-3924

十月は里親月間です

里親制度をご存知でしょうか。近年、児童虐待などで家庭に恵まれない児童が増えていきます。こうした児童の多くは、児童福祉施設暮らしですが、児童の健全な成長には、あたたかい家庭での生活が欠かせません。このため、児童福祉法で家庭教育制度が設けられ、児童の幸せのために、「里親制度」が大切な役割を果たしています。

里親には養育里親、短期里親、親族里親、専門里親の四種類があり、児童の状況に合わせて、里親の家庭を提供頂くこととなります。

里親制度について詳しくお知らせになりたい方は、児童相談所におたずねください。

■問い合わせ

新潟県六日町児童相談所

〒949-1662

南魚沼郡六日町大字六日町二二-110

☎025-770-2400

事業主のみなさまへ

「思わぬ労災・予期せぬ失業・しつかりサ ポート労働保険」

十月は「労働保険適用促進月間」です。労働保険（労災保険・雇用保険）への加入は必ずみですか？

労働保険は、保険事故（失業または業務災害、通勤災害等）が発生したときに必要な保険給付を行い、労働者を雇用する事業主は、必ず労働保険に加入しなければなりません。

まだ、加入されていない事業主は、速やかに加入手続きをお願いします。

■問い合わせ

十日町労働基準監督署

☎52-2079

十日町公共職業安定所

☎57-2407

「ペットもあなたの 家族です！」

ペットに対する飼い主のモラルが問われています。周囲の人に迷惑をかけることなく、楽しく快適にペットと暮らすためには、しつけやマナーは欠かせません。

また、ペットは飼い主を選ぶ

ことが出来ません。繁殖を希望しない場合は、不妊・去勢処置を行うなど、愛情と責任を持って飼いましよう。

近年、捨て猫や迷い犬に対する通報や、野良猫などの苦情が多く寄せられます。

犬を飼っている方は首輪に鑑札を、猫を飼っている方は屋内で飼うように、また、首輪などで飼い猫であることを示しましょう。

みだりにペット（愛護動物）を殺傷したり、虐待又は遺棄（捨てる）は法律で禁じられており罰せられます。やむを得ない事情で飼いつづけることが出来ない場合は、左記までご相談ください。

■問い合わせ

生活環境課 環境衛生係

☎68-4961

十日町健康福祉事務所 衛生環境課

☎57-2707

★法律まめ知識

『動物の愛護及び管理に関する法律 第二十七条』

一、愛護動物をみだりに殺し、又は傷つけた者は、一年以下の懲役又は百万円以下の罰金に処する。

二、愛護動物に対し、みだりに給餌又は給水をやめることにより衰弱させる等の虐待を行った者は、三十万円以下の罰金に処

する。

三、愛護動物を遺棄した者は、三十万円以下の罰金に処する。

ダイオキシンの類排出濃 度測定結果のお知らせ

十日町地域衛生施設組合では、ごみ焼却処理施設（エコクリンセンター）から排出されるダイオキシン類の測定を六月十八日に行いました。

その結果、エコクリンセンターの排ガスから検出されたダイオキシン類の濃度は、一号炉一、二ng（ナノグラム：1ngは十億分の1g）、二号炉一、一ngでした。この濃度の値は環境省が恒久対策基準（平成十四年十二月一日以降）として示している五、〇ngを下回る結果です。

ダイオキシン類の発生を抑えるためにはごみ減量化、リサイクルなどを推進するとともに施設の適切な管理運営を行なう必要があります。

これからも廃棄物処理の安全対策について万全を期します。で、町民の皆さんの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

■問い合わせ

十日町地域衛生施設組合

☎52-3924

お寄せください あなたの 意見・提案・質問

は何か（環境ホルモンが出るものか）。食器を洗う洗剤は何か。
②有害紫外線については最近テレビや新聞でもたびたび報道されているが、一番影響を受けやすい保育園児・高校生について、学校としての取り組みはしているのか。

〈害のないものを使っていきます〉

A. ①各保育園とも食器については、せともの（陶器）を使用しています。

小・中学校給食に使用している食器は、材質がPE樹脂（ポリプロピレン）によるものとPEZ樹脂（ポリエチレンナフタレート）によるものとの二種類の食器を使用しています。いずれも耐熱性、耐薬品性、耐久性に優れ、環境ホルモンの危険性等、安全性が疑われる材質は使用していない食器です。

特にPEZ樹脂の食器は、リサイクルも可能であり、食材による着色汚れがないなど、環境により優しい食器です。劣化の進んでいる食器は順次替えておりますし、PEZ樹脂による食器を全食器に使用していきたいと考えています。

各保育園が使用している食器洗い用洗剤は、ぶなの芽会・な



おいしい給食は「安心・安全」から

とは少ないと考えられます。また、汚れの分解力は石鹼や合成洗剤よりも洗浄機用洗浄剤の方が圧倒的に高いことが数値で示されています。

このように、学校給食で使用している食器洗剤は、環境や厳しい衛生基準に適合したものを使用していることをご理解いただきたいと思

地域新エネルギーで 原発を取り上げない のはなぜ？

Q. ③「川西町地域新エネルギービジョン」の中に、原発のことがほとんど取り上げられていない。町としては、近くにある、世界一の原発については、どんな考えを持っているか。（新エネルギーが原発に代わるエネルギーになってほしい）

〈新エネルギーと原発は 分けて考えています〉

A. ③「川西町地域新エネルギービジョン」概要版の中でも

学校などで使っている 食器や洗剤は？

（44歳・女性）

Q. ①川西町の各保育園・学校で使用されている給食の食器

町では、皆さんのご意見やご提案をまちづくりを生かしていきたいと、「まちづくりについて

の提言や意見」をいただいています。これまでに届いたものの中から、紙面で紹介する必要のあるものを、内容を抜粋してご紹介します。

示されているように、地域で新エネルギービジョンを策定する背景には、「エネルギー問題」と「地球環境問題」があります。

「エネルギー問題」とは、これまでエネルギーとしてもっとも依存の度合いが高かった化石燃料（石油や天然ガス等）の枯渇という問題で、「地球環境問題」とは、化石燃料の消費によって排出する膨大な量の二酸化炭素により温暖化が加速され、地球環境に深刻な影響を与えはじめていくということです。

この二つの問題を一挙に解決に導く対策として、世界各国が熱心に取り組んでいるのが、エネルギー消費の削減と非化石エネルギー導入の推進です。日本においても、すでに各方面でエネルギー消費の効率化や、化石燃料から自然エネルギー、リサイクル・エネルギーなど新しいエネルギー源への転換について様々な取り組みがされています。

これらの取り組みの中で、川西町のような小さな地域でどのような取り組みができるかをまとめたものが、「地域新エネルギービジョン」です。このビジョンの中では、その地域にどのような資源（エネルギーとして利用できる資源）があり、どのような利用が考えられるかをまとめ

ています。

そのようなわけで、地域新エネルギービジョン策定の過程では、原子力発電のような国家レベルの課題についての議論は行っていないことを、ご理解いただきたいと思います。

新エネルギーの利用は始まったばかりで、現段階での需要も少なく、実用化に向けた研究もまだまだこれからです。環境にやさしい「新エネルギー」の普及がどんどん進むことを期待したいものです。そのためにも、大勢の方々から関心を持っていただき、利用できるものから少しでも新エネルギーを導入していただければと考えます。

公園の花が刈り取られた

Q. 多くの人が関わって育てた公園内の花が、何者かに刈り取られた。どうしたらよいのか。

〈みんなでモラル向上を〉

A. 町内の公設の公園は、各種事業で造成し、その後の管理等については、地域や各種団体の皆様にお願ひしながら憩いの場として利用していただいています。

公園内の花等の植栽についても、さらに美しい環境づくりを、ということから実施されているもので、関わっていただいている皆様の暖かくやさしい気持ちが出発点となつています。



刈り取られた花壇の花

今回のようなできごとは、丹精込めて育てられてきた皆様の好意を踏みにじるような行為であり、いたずらということでは済まされないものです。

こうした行為はまさにモラルの問題であり、一朝一夕には解決できない要素も含まれていると思いますので、関係機関等とも相談しながら、公園利用に際してのモラル向上を図っていきたいと考えています。

だんだんどーも！ ②⑥

上野地区子どもを育てる会の巻

んだよねー」「男しよは女しよに引っぱらいてらんだどもぞ（笑）」…。間髪をおかずに次から次へとことばが続きます。

「何よりもチームワークがいいんですよ」。上野地区子どもを育てる会会長の上村功一さん（54・上野／前列左から二人目）は、会の雰囲気についてひとことで説明します。「集まって話をしていくうちにすぐに盛り上がります」「子どもにひっぱられて参加している親の方が楽しんでますよ」「いや、メンバーの楽しみに子どもが巻き込まれてらんだ（笑）」「大人も子どもも、ふだん体験できない世界を知ることができらんがいや

「毎年テーマを決めて活動してらんで、今年のテーマは『そば』で、種まきから刈り取り、そば打ちまでを一貫してやらんだ」ということで、この日はハイキングを兼ねて、八月に行った『そばまきアート』の鑑賞会も実施。小学校高学年を中心に、「片付けみんなでやろうよ」と話し合っって自主的に作業を手伝うなど、具体的な成果も見えてきた会の来年のテーマは、「そばを食ってから決めます」とのこと。



きつと、長い活動になるんでしょね。

二週間遅れて稲刈り最盛期



長雨の影響で、手作業が必要なところも多くあります

夏の天候不順で生育が遅れた稲の収穫・出荷が最盛期を迎えています。例年は九月末にはほとんど稲刈りが終了していますが、今年は、十月に入っても各地で稲刈りが続いています。これは、夏の低温に加え、刈り取り期に断続的に雨降り続いたため、作業が大幅に遅れたことによるものです。

さらに、降り続いた雨は稲を倒すとともに、田をぬかるませて作業を一層困難なものにしています。各地でコンバインが入らないほ場が続出し、家族総出で手刈りをする姿が多く見られました。機械化が進んでも、やはり自然の力にはかなわないということ、身にしみて感じた秋でした。

住民の目で合併を考える会始動



満席の参加者を前に熱弁をふるう小池加茂市長

九月十一日、住民有志による、合併を考える会（真明成光代表世話人）が発足し、商工会館に小池清彦加茂市長を招いて講演会が開催されました。

この会は、五市町村による合併への動きが行政主導で展開していることから、住民の目から見た合併を考えていこうと設立されたもので、この日は約五〇人が参加しました。

あいさつの中で真明代表世話人は、「決して合併に反対する会ではありません。住民同士が合併した場合やしない場合について幅広く意見交換を行い、真の幸福を追求するために活動するものです」と述べ、参加を呼びかけていました。

講演会では、合併に反対の立場で精力的に行動し、全国的にも注目されている小池加茂市長が、「合併によって地方が破壊され、国が減じる。国があめ玉として示している合併特例債はあくまでも借金で、その使途や額は大幅に制限されており、メリットはない。合併は集団自殺だ。市町村の幹部は疑問を持っている人も多いが、県などの上部組織が旗振りをしているので従っているのが現状だ」と、独自の見解を披露しました。

同会では、今後も合併に賛成の立場、反対の立場で活動する組織や個人を招いて勉強会を重ねる予定です。

9月25日、（財）郵政互助会信越地方本部から、ひだまりの家（上野西永寺内）に籐いす5脚が寄贈されました。

同会は、昭和29年の発足以来、地域福祉など社会に貢献する活動を積極的に行っています。この日は、中川喜一上野郵便局長から小林義幸町社会福祉協議会長に目録が手渡され、利用者はさっそく新しい椅子の座り心地を確かめていました。

月曜日から金曜日まで約50人の高齢者が利用するひだまりの家では、これまで定員3人のソファに人気が集中して座れない人もいました。そのため、新しい椅子のプレゼントに「ひざが弱いんだが、回転するいすは楽で大助かりだ」と、利用者は大喜びです。



籐いすの座り心地は「最高」

ひだまりの家に「籐いす」を寄贈——郵政互助会——

生涯学習施設管理運営等懇談会

調理室を考える

四回目の生涯学習施設管理運営等懇談会では、「調理室」をテーマに活気ある意見交換が行われました。調理室は、女性の使用頻度が高い施設ですが、男性からも活発なアイデアや意見が出されました。

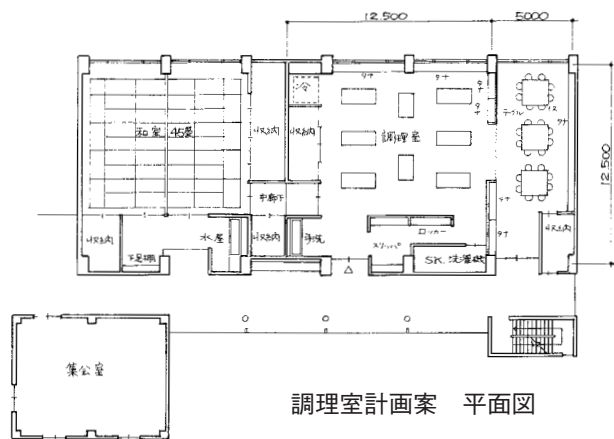
これまで、総合センターの調理室ではスペースが充分に無かったため、思うように活動ができずに、やむを得ず学校調理室を利用することもたびたびありました。このような現状を踏まえた中で、「是非この機会に三〇人程度の利用が可能な広さと設備の整った調理室をつくる！」という会全体の一致した目標をもとに検討を深めていきました。

改修後にイメージされる活動内容として、各種料理教室、サークル活動、講習会、仲間とパーティを開くなどができると考えています。大きな特徴としては、調理室と連続して使用することが可能な「多目的室」を調理室に隣接して配置してみました。この多目的室では、

講習会の事前説明を行ったり、作った料理の試食や、ちょっとしたろいだりすることもできます。また、隣の和室（四五畳）を中廊下でつなぐことにより、一層利用の幅を拡げていくことができますと考えています。

いろいろな利用パターンの可能性が出てきた調理室に、夢は大きくふくらみました。

今回の懇談会では、これまでの協議した施設全体の内容をまとめた計画案を確認する予定です。



調理室計画案 平面図



⑨ 川西町
体育協会

第二十七回町民マラソン大会

台風十五号が接近し天候が心配された九月二十日、恒例の町民マラソン大会が開催されました。

この大会は、川西町体育協会が主催しており、当初は元旦マラソン大会として開催され、現在では駅伝種目を取り入れるなど、形を変えながら長年続いてきた大会です。

今回の大会は、小学校一年生から成人まで二五八人という多くの参加者と、田口町長をはじめ来賓の皆様からご参加いただき大会を盛り上げていただきました。結果を次のとおり報告します。

【駅伝A 1km×3人】

- 小学生一〜三年の部
- 一位 上野小（川崎竜一・高橋幸・清水綾）一七分四三秒三
- 二位 千手スカイブルー（小林誠一朗・畑中沙桜里・柳智秋）一七分四七秒〇
- 三位 プーさん（高橋夏歌・田邊沙季・丸山美佳）一八分二四秒〇



■一般の部

- 一位 大久保家（大久保喜弘・大久保昌史・柄澤嘉希）一五分四〇秒六
- 二位 チームきよし（星名貴宏・羽鳥幸治・中川直也）一五分五六秒一
- 三位 ウォーターボーイズ（久保田均・星一徳・村竹繁）一七分二三秒七

【駅伝B 2km×3人】

- 小学生四〜六年の部
- 一位 丸山軍（丸山允央・丸山文央・丸山廉太）二一分四六秒七
- 二位 ベストフレンド（片桐知美・引間美里・丸山夏織）二四分五一秒三
- 三位 橘小学校Aチーム（田口

詩織・村越真弓・和久井雅子）二五分五九秒一

■中学生女子の部

- 一位 川中 Girls（小林友利恵・田村沙織・南雲春佳）二七分二一秒〇

■一般の部

- 一位 マルクスゴール（山岸和徳・鎌田和則・大関正人）二一分五五秒二
- 二位 上野ランナーズ（小島伸子・押木美代治・押木靖江）二五分四二秒三

【駅伝C 3km×3人】

■中学生男子の部

- 一位 川中 Runners（和久井大・関口直輝・押木祐生）三〇分二七秒四
- 二位 川中 Running Spris（小川泰人・丸山夏輝・登坂裕和）三一分一九秒七
- 三位 川中 Boys（片桐裕貴・高橋直一・太田渉）三一分三八秒七

■一般の部

- 一位 大久保家2（大久保喜弘・柄澤嘉希・大久保昌史）三一分二七秒八
- 二位 橘ティーチャーズ（樋口洋一・清水克朗・水落義彦）四〇分〇九秒五

●お問合せ先 川西町教育委員会内 川西町体育協会事務局
(068-2167)

ザ・川西高校 7

今年度からスタートした「総合的な学習の時間」。その一環として本校一年生は、「そば打ち体験学習」を計画しています。

七月に予定していたそばの種まきは、残念ながら雨のためできませんでした。が、先日の九月五日、晴天のもと、一年生全員でそばの草取り作業を行いました。

「そばの花」を初めて目にした生徒が多く、「どれが草でどれがそばなのかなあ？」と最初は戸惑う場面も見られました。日頃、畑



仕事には縁の少ない生徒達ですが、残暑の厳しい中、一生懸命に草取り作業を行いました。

この畑で一面真っ白な花をつけている植物が、どのような過程を経て美味しい「そば」となるのか、全く見当もつかない、という声も聞かれました。

今後の予定ですが、十一月には刈り取り作業、来年三月には実際に「そば打ち」を行う試食会が予定されています。

地域の皆様のご参加もお待ちしております。

骨粗しょう症を予防しよう

あなたの骨密度を測定してみませんか

年をとると腰が曲がったり、背中が曲がったりすることがよくありますが、老化現象と思われていました。

ところが数年前から、これは「骨粗しょう症」という病気であることがわかってきました。

◇骨粗しょう症って？

骨の量が減少して骨折しやすくなった状態をいいます。骨がすかすかになって、骨がもろくなる病気です。

初期には、無症状のことが多いのですが、弱くなった骨が日ごろの動作の圧迫力でつぶれ、背中が丸くなり、身長が低くなる、腰や背中が急に、あるいは慢性的に痛むといった症状が現れてきます。

手足の関節近くの骨が、転んだだけで骨折してしまいやすくなることから、寝たきりの原因としても問題になっています。

◇若いうちに丈夫な骨をつくりましょう

骨の量は、身長の成長が止まっても、十八〜二十歳頃までは増えて最大となり、四十歳ごろまではそのまま保たれます

が、年齢とともに徐々に減っていきます。

二十歳までの間に、骨にカルシウムを蓄えておくことが重要です。

◇検診を受ける間隔は？

偏食、無理なダイエット、妊娠・授乳期にカルシウムが不足しやすいなどの理由で、若い人でも骨密度が低い場合がありますので、一度検診を受けてみましょう。



女性は、閉経期に骨の形成や維持に深く関わっている女性ホルモンの分泌量が急激に減少し骨の量が減りますので、その期間は、年に一度は検診を受けることが大切です。

以前に骨密度検診を受けて「正常」の方は、毎年受ける必要はありませんが、少なくとも五年に一回は受けましょう。

◇骨密度検診を受けよう

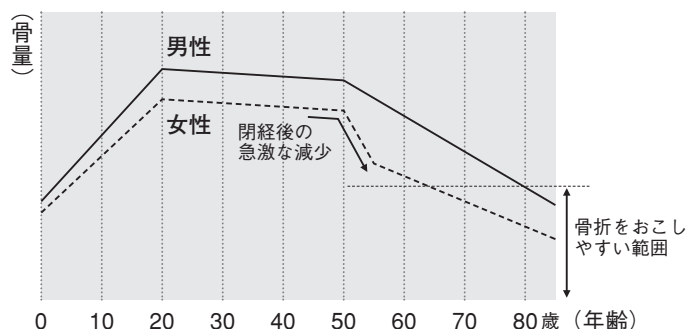
町が実施する検診では、問診と測定を行います。測定方法はいくつかありますが、検診車内で、腕の骨（前腕骨）を調べます。苦痛もなく三分ほどの検査

です。

検診は、十月に五日間実施します。日程はお知らせ版九月二十日号の暮らしのカレンダーをご覧ください。二十歳以上の町民を対象に、検診料金は千円です。申し込みをした方には、九月下旬に通知をしましたが、申し込みしていない方も、受けられますので、事前に健康推進係に連絡いただくか、当日会場へおいでください。

自分の骨の強さを知り、予防に役立てましょう。

加齢による骨量の変化（概念図）



善意

福祉に
今藤 ハル (上野)
五万円 (敬称略)

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

久保田 瑠海南	南 雲 龍太	山 田 悠人	登 坂 凌也	うぶ声—おすこやかに	和 田 スキ	小 林 藤江	清 水 寛治	星 名 忠一	江 口 忠夫	清 水 ミヨ	羽 鳥 ヒサ	高 橋 文蔵
美哲 穂郎	智敏 美夫	優 子 仁田	祐道 子大	10183 (本 人)	93 (本 人)	91 (本 人)	67 (本 人)	63 (久 二)	90 (徳 二)	63 (徳 二)	90 (本 人)	
学校町	中仙田	岩 瀬	中仙田	中仙田	中央町	津南町	小白倉	寺 尾	伊 友	あかね園		

蕎麦の花信濃に多き道祖神



かわし俳壇

高崎正風選

(9月1日〜30日届け出順)

水落 幸恵	小川 知明	鈴 木 博巳	鈴 木 博巳	上村 正樹	高砂—ご円満に	田 村 賢希	高 橋 佳那	西 潟 駿飛	田 中 洸朱	清 水 和也	高 橋 恋々
仁 田	岩 瀬	十日町市	山 野 田	中 国	上 野	直 子	洋 樹	宏 美	美 雪	菜 々	健 太
						豪 子	江 霜	正 洋	直 哉	一 彦	千 鶴
						上 野	霜 条	山 野 田 住 宅	小 白 倉	下 平 新 田	寺 尾

休日救急医

10月13日 川西町国保診療所
(川西町高原田)
☎ 68-2034

19日 中 条 病 院
(十日町市北原)
☎ 57-3018

26日 大 熊 内 科 医 院
(十日町市山本町 1)
☎ 52-7066

11月2日 山 口 医 院
(十日町市袋町中)
☎ 52-2174

〃 津 南 病 院
(津南町大割野)
☎ 65-3161

3日 山 口 医 院
(十日町市下条中央)
☎ 55-2003

9日 大 坪 医 院
(十日町市四日町新田)
☎ 57-6100

■表紙の写真

瀬替えのあとがよくわかる小白倉の琵琶島で、稲刈りが行われていました。

いつ降り出すかわからない空の下で、寸暇を惜しむ作業が続きます。

?町勢要覧クイズです?

今月号から、「2003 町勢要覧」に記載されている内容を中心にクイズを出します。

<シガゾウという、何十万年も前の象の化石が出たところは?>
ヒント：全戸配布した町勢要覧をよく読んでください。

おわかりの方は、はがきに「解答」「住所」「氏名」「電話番号」を明記のうえ、〒948-0192 川西町役場総務課文書広報係までご応募ください。

正解の方に(多数の場合抽選で)ステキなプレゼントをいたします。
●締め切り… 10月24日(金)

<9月号の答え>

「長岡市蓬平地区」

今回は正解者多数のため、抽選とさせていただきます。当選者は次の方々です。皆さんには記念品をプレゼントします。(敬称略)

高橋桃香(学校町)、星野アサ(野口)、中島キイ(下平新田)、上村マサ(上野)、金崎礼二(元町)、和久井佐百合(木落)

花すすき昨日と違う風情かな 小白倉 江口みゆき	鬼灯を鳴らして孫を驚かす 野口 村越 由喜	そばの花休耕田を白く埋め 中屋敷 金子 鉄平	夕焼に凭れて人を送りけり 元町 田畑 吉治	裏山へ柿赤々と陽の落ちる 霜条 星名 星光	赤らみし柿に入日の迫りけり 元町 田畑 吉治	眼つむりて雨を聴きをり羽抜鶏 中屋敷 金子 鉄平	そばの花休耕田を白く埋め 中屋敷 金子 鉄平	鬼灯を鳴らして孫を驚かす 野口 村越 由喜	花すすき昨日と違う風情かな 小白倉 江口みゆき
倒伏の稲ふんばって刈りにけり 閉店のノレンを畳み浜の茶屋	一枚の窓の秋空秋の山 間引く葉に朝の露ありさわやかに	秋祭り子どもも少なきこと淋し 赤とんぼ行ったり来たりして宙に	一日に三度のバスや稲架の道 田を巡り稲刈る日取り決めにけり	ほ、づきを孫へと取ってやりにけり お彼岸を知らせて土手の曼珠沙華	昔日の夢を宿せる花野かな 信濃川堰の名残りや秋の草	とり入れの済みし刈田の夕焼ける 十三夜月のあかりでひとよなべ	山ノ上越後妻有の葡萄切る 山ノ上ワイン葡萄を切り終えし	大田原人影見え夏盛ん 病床に祭囃子の遠かりし	野口 高橋 波京
岩瀬 登坂伊智子	新町新田 若山 向山	田中町 石澤 澄代	小白倉 田中 優美	八王子市 松浦 サク	足立区 涌井ハル子	高原田 須藤 キミ	霜条 蔵品ハツエ		



▶「きれいな花畑」
1年生 丸山千明さん



「光のプレゼント」
3年生 全員



▶「林の中」
2年生 山田菜見子さん



▶「キャンプファイヤー
楽しかったな」
4年生 丸山奈緒美さん



「創立130周年記念 ようこそ先輩!!
藤巻秀正先生との共同作品」
5・6年生 一同

(11月号は仙田小学校です)

ふんふんふん

実りの秋だが、天候不順で十年ぶりの不作にみまわれている。柿が色づいたが、例年になく小粒で実も柔らかい。甘みも少ないようだ。



「山から果が消えた」といわれるほど、栗が実をつけていない。今夏大発生した毛虫のせいだ。栗を好物としているようで、山々の木々がところどころ丸坊主になったり、紅葉したように真っ赤になつてる姿を見たのは記憶に新しい。

④ 災難は、これらを食べて冬を越すための体力を蓄える動物たちだ。えさを求めて里に下り、さらなる災難に遭わなければならないのだ。

